

# 東京都廃棄物審議会計画部会第1回 会議次第

日時 令和7年2月12日（水曜日） 11時30分～12時00分

形式 WEB会議

- 議事
- （1）東京都資源循環・廃棄物処理計画改定の視点
  - （2）改定スケジュール
  - （3）その他

## < 配付資料 >

- 資料1 東京都廃棄物審議会計画部会委員名簿
- 資料2 東京都資源循環・廃棄物処理計画改定の視点
- 資料3 東京都資源循環・廃棄物処理計画 改定スケジュール（予定）

## 東京都廃棄物審議会計画部会委員名簿

(敬称略、五十音順)

粟生木 千佳	公益財団法人地球環境戦略研究機関持続可能な消費と生産領域 主任研究員
天 沢 逸 里	早稲田大学カーボンニュートラル社会研究教育センター 准教授
大石 美奈子	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 消費生活アドバイザー
岡 山 朋 子	大正大学地域創生学部 教授
高 橋 真 史	東京商工会議所産業政策課第二部 主任調査役
田 崎 智 宏	国立研究開発法人国立環境研究所資源循環領域 資源循環社会システム研究室 室長
平 湯 直 子	武蔵野大学経済学部 教授
村 上 進 亮	東京大学大学院工学系研究科 教授
森 朋 子	東京都市大学環境学部 准教授
森 本 英 香	早稲田大学法学部 教授
山 本 雅 資	神奈川大学経済学部 教授

## 東京都資源循環・廃棄物処理計画改定の視点

(諮問の際に御説明した内容)

次の 1 及び 2 について、概ね 2035 (令和 17) 年頃を想定した長期的なビジョン及び 2030 (令和 12) 年度までの具体的な計画の 2 つの視点でご検討いただきたい。

- 1 「持続可能な資源利用」の実現に向け、静脈分野からサーキュラー・エコノミーへの移行を加速するための施策の方向性
- 2 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (昭和 45 年法律第 137 号) 第 5 条の 5 第 2 項が定める事項

(計画改定の視点)

- 廃棄物の発生量や環境影響等を踏まえ、都が今後特に重点的に対策を講じるべき分野の設定や、更なる発生抑制・リサイクル基盤の強化など、資源ロス削減と循環利用の強化徹底を進めるための施策のあり方
- 先駆的な 2 R・水平リサイクル施策の社会実装の拡大や、動静脈連携の活性化など、持続可能な資源利用の実現に向けた社会変革を加速するための施策のあり方
- カーボンニュートラルへの貢献や災害廃棄物対策の一層の強化、静脈分野のアップデートなど、社会課題に対応した強靱で安定的な廃棄物処理システムの確保を図るための施策のあり方

## 東京都資源循環・廃棄物処理計画 改定スケジュール(予定)

令和 7 年

2 月 1 2 日 廃棄物審議会総会 (第 3 0 回)

計画部会 (第 1 回)

・計画改定の視点

3 月下旬 計画部会 (第 2 回)

・資源循環・廃棄物処理の現状、課題 等

4 月下旬 計画部会

) ・部会での審議 (4 回程度)  
 ) ・主要施策の方向性  
 ) ・個別施策の審議  
 ) ・政策目標・将来推計

計画部会

・中間まとめ案

10 月頃 廃棄物審議会総会 (第 3 1 回)

・次期計画案 (中間まとめ) の提出

パブリックコメント・区市町村意見聴取

) ・部会での審議 (1 回程度)  
 ) ・最終まとめ案

令和 8 年

1 月頃 廃棄物審議会総会 (第 3 2 回)

・答申

3 月下旬 新計画策定